**永山まちづくり実行委員会の開催結果抜粋**

**資料１**

開催日時　平成２９年９月１４日（木）１８：００～１９：３０

参　集　　９実行委員会（委員数１８）　欠席４名

主要結果

|  |  |
| --- | --- |
| 実行委員会名 | 経過報告・今後の予定 |
| 永山ＳＯＳネットワーク推進委員会  （会長　山田幸作） | ・前半期は「ヒトココ」を体験して貰うことに取り組んだ。  ・後半期は実効性の検証を行って行く。「ヒトココ」の性能を明確に確認していく。探索に役立つことが明確にならなければ，機械力を活用した捜索への地域の信頼も生まれない。  ・直近では９／２６に実施予定。対象地域を３グループに地域割り（親機3台）し，子機1台（捜索対象者1名）を探す。  ・実効性の確認ができれば，行政や社協に働きかけて，本格的導入へと進んでいける。 |
| 冬みち守り隊  （隊長　葛西輝昭） | ・１０月に第1回実行委員会の開催を予定。活動方針，地域説明会，地域パトロール，地域自主除排雪の各事業について検討する。「地域説明会」は開催日程を決めていく。  ・南，第二も加えた４地区構成による実行委員会。  ・地域アンケートを実施し，除雪に対する地域住民の意見や不満を聞き，事業に反映する。  ・地域苦情の多くは，家の前に残されていった雪についてのもの。Ｈ２８年度冬，第三地区で１１２本の目印ポールを立てた。苦情が減り，評判は良かった。今冬は他地域への波及を検討したい。 |
| 永山南きづな推進委員会  （会長　桑畠保夫） | ・親子，高齢者と子どもというように，毎度，子どもの参加がある。  ・ミニレクチャーでは，保育所の遊戯会，ふまねっとによる健康体操など，地域の協力も得られている。  ・永山南のカフェ事業を開始した時点では，このような集いの場の開設は，市内で２～３箇所だったが，現在は市内で１６箇所にも増えてきている。  ・今後の事業計画としては，定期開催をさらに充実させていきたいと考えている。また，自主運営も目指していく。 |
| 永山地域文化振興実行委員会  （会長　信木晴雄） | ・9月7日に本年度第3回目の実行委員会を旭川大学会議室で開催。主題は，永山地域文化団体各者からの事業経過報告，年度後半期の事業計画，永山地域史保存調査の進捗等。なお，第1回は4月7日，第2回は7月24日に開催済。  ・事業経過としては，永山地域史保存調査は調査対象者リスト（42名）に基づいて聞き取り調査を開始している。聞き取り調査は16名，寄稿依頼は26名を予定している。古典芸能普及啓発の方は，さつき会，永山ふるさと祭り等を実施した。  ・今後の事業予定としては，永山地域史保存調査は今年度中に原稿を収集し，来年度に冊子発行を予定。古典芸能普及啓発の方は，若年層への普及について，管内の高校，旭川大学，及び教育大学へ活動していく。また，永山管内の文化活動について，ホームページを活用した情報収集・発信の仕組みを検討する予定である。 |
| 農家の食卓でエコなお食事会実行委員会  （会長　藤井やよい） | ・今年度は活動始期を早め，8月8日，28日，9月4日と3事業を実施した。  ・今後の予定は，9月24日開催予定の「稲刈り体験」，10月31日の「農家の食卓」，2月には出前講座3事業を予定している。2月の事業については，日にちはまだ決めていない。  ・食農教育，地産地消を主な内容とする。  ・対象は一般市民の他，学生や親子も視野に入れていく。旭川大学短期大学部の協力も得て，幅広い展開を目指していく。 |
| 永山食べきり協力店マップ実行委員会  （会長　江口尚文） | ・永山商店街マップ（Ｖｏｌ．１２），永山食べきりマップ（商店街マップの別冊，第1号）の地域ポスティング作業中。コピー機の不調から，今しばらく時間を要する見込み。  ・まち協協働事業の永山食べきりマップについては，今年度，調査内容，調査対象を拡充，ステップアップしていく予定。例えば，調査先のレストランなどで，使い終わった油は業者へ渡していると聞いていたが，今年度は渡された油がどのように処理されているかまで調査をしてみたい。 |
| 永山地域医療専門家連携実行委員会  （会長　伊藤広也） | ・１０月２２日に第2回事業「糖尿病」を予定している。  ・次年度事業，第3回事業は平成30年4月に「動脈硬化」で計画・準備している。  ・事業開催時には，次事業のアナウンスを行えるよう準備を進めていきたい。  ・講演会では来場者アンケートを取っており，今後への要望など，企画の参考にしていく。 |
| 永山地域経済活性中長期計画策定検討会  （会長　河田祐也） | ・前半期は，地域住民向けアンケート調査について，旭川大学作成のたたき台をもとに準備を進めてきて，次回打合せ（10月）あたりで完成する予定。  ・平成13年度，駅前地域の拡幅時期に旭川大学が実施した地域アンケート調査を参考に，今次調査についても，横長な永山地域のうち，駅前を中心とした商店街活性についての，具体的な住民ニーズを把握する。  ・マンパワー不足が課題である。  ・アンケート調査の集計については，まち教予算計上を望みたい。 |
| 永山地域世代間交流事業実行委員会  （会長　工藤博視） | ・事業経過としては，８月に「七夕まつり・夏まつり」を実施した。  ・七夕まつりでは，予想の倍以上，652名の参加があった。地域の賑わい作りという視点では大盛況であった。本事業の目的は，世代間交流，地域の賑わい作りであるが，夏まつりの方は高齢者の参加が少なく，次事業での課題としていく。  ・事業予定としては，１０月に「むかしあそび＆カレーライスづくり」，１２月に「クリスマスオーナメント」，２月に「アイスキャンドル」を計画している。 |